



芦屋高校は3学期制へ ～岡田学校長より～

「グローバル社会を生き抜く魅力ある芦高・芦高生の創造
～生徒・保護者の夢を叶える進路実現を～」をテーマに、地域に愛される学校へ

- 1 単位制の良さを生かした3学期制に移行
 - ・「高大連携講座」などの半期履修は継続
 - ・通知表を3回渡すことで、学習計画・補習計画をより細かに支援
- 2 外国人生徒の特別枠入学制度をもとにグローバル教育の推進
 - ・姉妹校提携した学校と相互訪問(修学旅行を含む)で国際交流
 - ・ニュージーランド語学研修、留学生の受入れ、トビタテ!留学JAPANの応募等でコミュニケーション力・プレゼンテーション力を伸張
- 3 キャリア教育の充実
 - ・単位制の特色である自分だけの時間割を作るには、まずは自分探しから
 - ・職業人から直接話を聞く『仕事ナビ』、卒業生が体験談を語る『進路ナビ』など自分の職業探し、大学探しの仕掛けが豊富

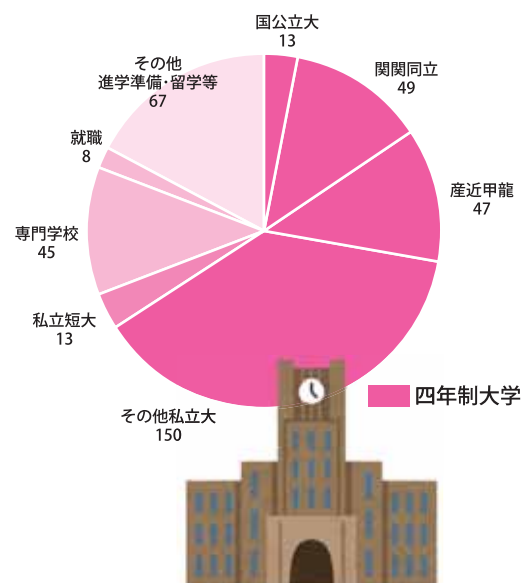


75期生入学式

4月10日、75期生323名の新入生を迎えました。
各クラス担当の指導委員(『芦高Topics』参照)に先導されて入場した新入生たちは、緊張した面持ちで着席し、入学宣誓、祝辞などと続いた式典を終え、晴れて芦高生の一員となりました。
本校自治会歌の演奏・斉唱の中を退場し、いよいよ新しい高校生活をスタートさせました。



72期生(392名)進路先



1年次(75期)

「神戸スカイアドベンチャーすずらん」で体験を通じてクラスにおける人間関係の構築、共同で課題を発見し解決する力の涵養という目標の達成を目指して校外学習に挑みました。地上7mの空中に張り巡らされたコースに命綱を着用して挑戦したり、コミュニケーションゲームを通じてクラスの親睦を目指すなど、仲間と声を掛け合い、体験前とは違う新たな友人関係を築くことができました。

2年次(74期)

京都は時折晴れ間の覗く曇り空で散策には絶好でした。この校外学習では修学旅行に向けた班別行動を目指し、各クラス4～7名の班に分かれ、嵐山方面・河原町方面を計画に沿って観光しました。神社仏閣を巡る班、食べ歩きの班など思い思いに時間を過ごし、伝統溢れる初夏の京都を満喫しました。解散場所では、最終点呼が終わってもなかなかその場を去らずに楽しくおしゃべりを続ける生徒が多くみられました。



3年次(73期)

集団としてのまとまりを作ること、座禅体験を通じて自分と向き合い、進路実現に向かう活力にすること、古都の歴史や自然に触れ、日本文化への理解を深めることを目的とする校外学習でした。

座禅体験では、小鳥のさえずりが聞こえる静かで趣のある空間で自己を感じることができました。その後は班別行動で京都散策をし、おのおの春の京都を楽しむ姿が見られました。



芦高
Topics

第69代自治会長 酒匂悠太



私たち自治会執行部は、本校の校訓“自治・自由・創造”によって、生徒の“自治”のもと、“自由”に自らを“創造”できるようにがんばっています。記念祭(文化祭)、体育祭や球技大会などの各行事を企画・運営しています。これは芦高ならではのやり方だと思います。

他にも式典や行事の際、校長とともに自治会長からのあいさつがあるなど、他校との違いがいくつかあります。その一つが『指導委員』の制度です。厳しい審査により選ばれた上級生が、5月上旬まで1年生担当ク

ラスのSHRと終礼に参加し、芦高生としてのマナーを伝えます。授業や部活動についての質問、購買や食堂では何がおいしいかなど、素朴な質問にも答えたり、県立西宮高校との定期戦に向けての校歌や応援指導など、今後の芦高生活の充実を支えています。

